

自然と共生したホッとなまち

川崎町町勢要覧 2013



世界記憶遺産「国宝支倉常長像」仙台市博物館所蔵

慶長遣欧使節団渡航400年記念
1613～2013年

2013年は、慶長遣欧使節団渡航400年記念!!

●川崎町民憲章 (昭和55年10月1日制定)

1. 健康に心がけ、清潔でうつくしいまちをつくります。
1. 互いにきまりを守り、明るく住みよいまちをつくります。
1. 親愛の情をもち、みんなで助け合うまちをつくります。
1. 生産にはげみ、ゆたかなまちをつくります。
1. 教養を高め、すぐれた文化のまちをつくります。

●町の獣 (昭和55年10月1日制定)

カモシカ



●町の鳥 (昭和55年10月1日制定)

キジ



●町の木 (昭和55年10月1日制定)

ドウダン



●町の花 (昭和55年10月1日制定)

シャクナゲ



●町章 (昭和39年7月1日制定)

この町章は、川崎の川を三重丸で表し、円は町民円満と団結の強さを示し、町の中心部を流れる北川、前川、太郎川の三大河川を象徴したものである。



●地籍面積

270.08 k㎡ (森林面積約 215.97 k㎡)

●川崎町へのアクセス

【自動車】

仙台から●国道286号線 (約60分)
仙台から●東北自動車道→山形自動車道→宮城川崎I.C (約30分)
白石から●東北自動車道→山形自動車道→宮城川崎I.C (約30分)
山形から●山形自動車道→宮城川崎I.C (約40分)

【高速バス】

県庁市役所前 - 電力ビル前 - 仙台駅前 - 村田町 - 川崎案内所 - 川崎中央 - みちのく杜の湖畔公園 - ポートピア川崎 (約60分)

【一般路線バス】

仙台から●仙台駅前 - 長町駅西口 - 川崎 (約70分)
大河原から●大河原駅前 - 川崎 (約50分)

宮城県川崎町

〒989-1592

宮城県柴田郡川崎町大字前川字裏丁175番地1

TEL 0224-84-2111 (代表)

川崎にまつわる偉人

【支倉常長】

支倉常長は、川崎町の支倉地区出身で、この地区と大変深い関係をもった町を代表する偉人です。1613年慶長遣欧使節として、仙台藩主伊達政宗の命を受け、太平洋・大西洋を越え、遠くローマ法王に謁見し、奥州(東北地方)との交易を求めた使節です。常長はその時に洗礼を受け、キリスト教信者となりますが、目的が達成されないまま7年後に日本に帰ってきます。そのころ日本では、徳川幕府のキリスト教の弾圧が強まり、彼の偉業は隠れたものとなってしまいました。



キリスト教信者である常長は、その後ひっそりとこの支倉の地で暮らしたものだと思えます。

支倉家の菩提寺である円福寺には、本尊のマリア観音が祀られていて、常長とその従者の墓もあります。円福寺の近くには支倉家の居城である「上楯城」城跡も残っていて、当時の面影を伝えています。

【古賀政男】

日本音楽会の巨匠「古賀政男」は、明治大学在学中に友人と旅し、川崎町の青根温泉に宿泊しています。そのころ古賀政男は、失恋と音楽に行き詰まり、生きる気力を無くしていました。無気力と脱力感でもうろうとするなか、青根の山中をさまよひ、自分の将来を悲観して自殺未遂を図ります。このことがきっかけとなり、古賀メロディーの代表作ともいえる「影を慕いて」が誕生することとなります。



青根の自然の森公園には、「影を慕いて」の歌碑・詩碑が建立され、また木立の中には旧古賀邸の庭にあった庭石や、置物が配置されていて、古賀メロディー愛好者の足を運ばせています。

川崎町景観百選

【象が沢噴水】

象が沢噴水は、国道286号入口から雁戸山(笹谷)に登る笹雁新道の途中にあります。約50分登ったところに、幅7~8mの山肌の裂け目から勢いよく吹き出した湧水は、あたかも象の鼻から噴水したかのように白いしぶきを上げ、壮大で優雅な風景をかもし出しています。



川崎町キャラクター

【チョコえもん】

日本人で初めてチョコを食べた支倉常長公の意志を受け継ぐ者

【サンファン】

支倉常長公を乗せて太平洋～大西洋を渡った伝説の船の末裔

【川崎べこ太郎】

幻のブランド牛「川崎牛」の若き伝承者

【そば実ちゃん】

川崎町特産のそば畑を見守る妖精



町勢要覧 発刊のことば



川崎町長
小山修作

川崎町は「自然と共生したホッとなまち」をめざし、まちづくりに取り組んでおります。

ここには、雄大な自然が織りなす美しい景観、きれいな水からつくり出される安全な農林水産物、先人達が築き上げてきた伝統文化など、心が「ほっ」と和み、「ホッと (Hot)」に情熱や熱意をもって取り組むことができる素晴らしい資源がたくさんあります。

町民の生活については、生き生きと暮らせるよう、医療・福祉・保健の更なる充実、子育て環境の支援、教育施設の充実を進めながら、質の高い人材を育成し、産業面においては、農林業を支えながら、新たな地場産業の発掘と企業誘致をすすめ、町民の働く場の確保と、所得の向上を図っていきたくと考えております。

また、東日本大震災により東北地方は、未曾有の被害に見舞われました。このような状況下において、川崎町は住民との協働によるまちづくりを進展させるため、知恵を出し、夢を語りつつ、「新しさ」改革を求める姿勢”そして、「質素儉約」を旨とした行政改革を心がけて、暮らしやすい郷土を築き上げて参ります。

この要覧をとおり、より多くの方々に川崎町を知って頂くために、我が町の概況を紹介し、発刊の言葉といたします。

平成二十五年十月



川崎町キャラクター「チョコえもん」

ページ紹介

- P1 町勢要覧発刊のことば
- P2 川崎町関連写真紹介
- P3 川崎町History
【古代・中世・江戸・明治・大正編】
- P4 川崎町History
【昭和・平成編】
- P5・6 川崎町施設・観光地MAP
- P7 川崎町の統計【人口・交通・生活環境】
- P8 川崎町の統計【福祉・気象・産業・商工業】
- P9 川崎町の統計【教育・財政】
- P10 川崎町の組織図【議会・行政】
- P11 川崎町の紹介



第20回支倉常長まつり



古き風景をたずね、 先人の足跡を知る



▲昭和初期の農協通り周辺の風景（手前の門柱が昔の郵便局）

太古から人々は豊かな自然のもとで暮らし、
中世には奥州と羽州を結ぶ街道の宿場町として、
歴史の重要な役割を果たしてきた

【古代】

私たちのふるさとの起源は、数千年前にさかのぼります。町内には縄文文化を伝える遺跡がたくさんあります。特に町内を流れる前川・北川・太郎川沿いに多数の生活痕跡が確認されています。水辺に近い高い地に数家族単位で竪穴式住居を建て、狩猟・採取生活を行いながらこの地に定住していったものと思われまます。

やがて米作りが始まる弥生時代となり、共同作業などのため、集落の形成が行われるようになります。川崎町では比較的高地である為か、米作りの痕跡は遺跡からは見つかっていませんが、弥生文化がうかがえる小野・小沢・支倉などの比較的温暖な地域では、沢筋を利用し開田した小規模な稲作りが始まっていたものと思われまます。



▲「支倉六右衛門常長塋所」
慶長遣欧使節団を率いた支倉六右衛門常長の塋所（圓長山円福寺）

【中世・江戸】

古代から中世にいたるまでの歴史は、詳しくはわかっていませんが、山に囲まれた閉鎖地形のため、大和朝廷の影響はあまり及ばなかったものと思われまます。しかし四方峠や笹谷峠を越えた交流は古くからあり、古文書等にも笹谷峠にあったとされる有耶無耶の関の件が書き記されています。特に前川・今宿・小野は、旅人の宿場や荷物の集積所として早くから集落を形作っていたと思われまます。江戸時代代では、前川・今宿・小野・川内・本砂金・支倉の六ヶ村が既に形作られていました。川崎館（川崎要害）は、慶長十三年

（一六〇八）城主・砂金石兵衛常長によって現在の城山に起工し、二年後に完成しています。この後間もなく野上堰が造られ、用水堀が整備されて、小野・前川地区の開田が進んだものと思われまます。同時に川崎町の原型や町並みの基礎ができたのもこの頃であったと推測されまます。

砂金家が断絶すると、明治に至るまでこの地は伊達家の領地となりました。支倉地区は、伊達政宗の命を受け一六一三年、遠くローマまで行った遣欧使節、支倉六右衛門常長のゆかりの地でもあります。円福寺には隠れキリシタンが崇拝したとされるマリア観音が納められていて、洗礼を受けた常長と従者の墓が残っています。

【明治・大正】

明治四年の廢藩置県により、この地は前川・今宿・小野・川内・本砂金の五つの村に分けられました。その後、明治二十二年の明治憲法の公布とともに市町村制が施行され、五つの村が一つになって川崎村が誕生しました。同じように支倉村と菅生村が合併し、富岡村となりました。川崎村は、広大な森林を有し、養蚕と炭焼きが盛んに行われ、特に木炭は、県内の一大主産地となりました。稲作は用水路の整備が進み、開田面積も広がったものの、度々凶作に見舞われ、農家の暮らしは大変だった記録が残っています。

【昭和】

昭和に入ると、大きな事件や戦争が頻繁に起こり、経済不安と凶作により人々の暮らしは大変だったようです。川崎町の特産となっているコンニャク栽培が始まったのも昭和になって間もなくのことです。川崎村が町になったのは、太平洋戦争後の昭和二十三年五月三日のことです。当時の人口はすでに一万人を越えていました。七年後の昭和三十年に富岡村支倉地区と合併し、新しい川崎町となりました。その後の昭和三十五年に旧富岡村の一部の櫛引・道海地区が村田町に編入され、現在の形になっていきます。

昭和四十一年着工した釜房ダムは、着工から四年の歳月を経て昭和四十五年三月に完成しました。湖の出現により、小野・小松倉地区は観光スポットとして変貌することとなりました。この五年後、釜房ダムの水質悪化が問題となり、県内町村でもいち早く下水道事業へ着手することとなります。

一方仙台市・山形市間を最短で結ぶ県道は、昭和四十五年四月に国道二八六号に昇格となり、仙台・山形間の道路整備に弾みがつくこととなりました。その後、長年の夢であった奥羽山脈に風穴が開き、双方の文化・経済の風が活発に吹き交うこととなったのは、十一年後の昭和五十六年四月のことです。笹谷トンネルの開通により、町内の交通事情は一変し、行楽シーズンは二八六号沿線の至る所で大渋滞を引き起こし、沿線集落のバイパス着手が進むこととなりました。

昭和六十三年十月には、待望だった山形自動車道の村田JCTと宮城川崎IC間が開通し、川崎町も文字通り高速交通時代を迎えることとなりました。

平成元年の八月、釜房ダム湖畔に建設を進めていた東北地方で初めての国営公園「みちのく杜の湖畔公園」が一部開園し、

The History of Kawasaki

自然が豊かな 川崎町だからです。

楽イベントである「荒吐ロックフェスティバル」を「エコキャンプみちのく」にて毎年開催しています。今では、様々な野外音楽イベントが定着し、野外音楽フェスティバルの町として、大勢の音楽ファンを楽しませていきます。

平成二十三年四月には、子育て環境の充実を図るため、幼稚園・保育所を一元化した施設と在宅の親子の交流や相談などを対応する子育て支援センターも併設した「認定かわさきこども園」がオープンしました。これにより、町内の子育てに関する全てのことを支援する体制が整い、多くの町民に喜ばれています。



▲「かわさきこども園」
県内公立で初となる幼保一体型の認定こども園



▲「荒吐ロックフェスティバル」
東北地方最大級の野外音楽イベントで、2006年から川崎町で開催

豊かな自然と長い歴史を有する川崎町は、
その恵まれた特性を活かしながら、
さらなるまちの飛躍と発展を目指している

川崎町施設・観光地 MAP

施設一覧	
施設名称	電話番号
川崎町役場	0224-84-2111 (代)
川崎町役場富岡支所	0224-86-2011
国保川崎病院	0224-84-2119
健康福祉センター	0224-84-6008
川崎町交流促進センター(るぼぼ)	0224-84-6611
かわさきこども園	0224-84-5247
川崎児童教室	0224-84-6606
暮石児童教室	0224-86-2680
今宿児童教室	0224-84-4837
川崎町子育て支援センター	0224-84-6606
富岡幼稚園	0224-86-2661
川崎小学校	0224-84-2004
前川小学校	0224-84-5001
川崎第二小学校	0224-84-2054
富岡小学校	0224-86-2003
川崎中学校	0224-84-2029
富岡中学校	0224-86-2007
柴田農林高等学校川崎校	0224-84-2049
川崎町学校給食共同調理場	0224-84-5002
川崎町公民館	0224-84-2116
川崎町B & G 海洋センター	0224-84-2277
川崎町山村開発センター	0224-84-2117
川崎町土地改良区	0224-84-2151
川崎町観光協会	0224-84-6681
川崎町商工会	0224-84-2174
川崎町社会福祉協議会	0224-85-1222
ポートピア川崎	0224-84-6662
セントメリースキー場	0224-84-5880
公衆浴場じゃっぼの湯	0224-87-2188
青根洋館	0224-85-3122
大河原警察署川崎駐在所	0224-84-2211
大河原警察署青根駐在所	0224-87-2202
国営みちのくの湖畔公園事務所	0224-84-6211
国営みちのくの湖畔公園管理センター	0224-84-5991
釜房ダム管理所	0224-84-2171 ~ 2
仙台森林管理署川崎森林事務所	0224-84-2009
大河原消防署川崎出張所	0224-84-2370
川崎郵便局	0224-84-2070
支倉郵便局	0224-86-2101
野上簡易郵便局	0224-84-2922
川内簡易郵便局	0224-84-5570
青根簡易郵便局	0224-87-2410
釜房環境浄化センター	0224-86-2566
中央コミュニティセンター	
本荒町コミュニティセンター	
裏丁コミュニティセンター	
川内北川コミュニティセンター	



①川崎町工場適地
川崎インターから200mの北川原山地区に「民間投資特区」を設置し、固定資産税免除や緑地規制緩和と条例による企業誘致を図っている。



②国営みちのくの湖畔公園「南地区」
1989年(平成元年)オープン。国営公園で、彩りのひろば、湖畔のひろば、ふるさと村などがあり、多彩なイベントが行われている。



③国営みちのくの湖畔公園「北地区」
野外活動が楽しめる「エコキャンプみちのく」、自然観察などができる「自然共生園」、イベント会場で知られる「風の草原」がある。



④釜房湖
1970年完成の治水・利水ダム。春は桜が美しい。管理所併設の「ふれあい学習資料館」でダムの知識を楽しく学ぶことができる。



⑫みやぎ蔵王 セントメリースキー場
毎年、仙台・山形両市からスキー客やファミリー客が訪れるアットホームなスキー場。キッズランドや上級者向けコースもある。



⑪るぼぼ かわさき
登山やスキーなど蔵王周辺の自然活動のベースキャンプで、宮城県公共の宿・川崎町交流促進センター。日帰り入浴もできる。



⑩巖々温泉
胃腸病に効く日本三大名湯の一つ。静かな山あいの一軒家の温泉は、秘湯と呼ぶにふさわしい趣を漂わせている。



⑨古賀政男記念碑 (青根自然の森公園)
作曲家古賀政男のゆかりの地である、青根温泉に建立された記念碑。



⑧青根洋館
大正時代の建物で、宣教師住宅として建てられたものを復元し、青根温泉の情報発信・温泉の歴史を紹介している。



⑦青根温泉「じゃっぼの湯」
仙台平野が一望でき、伊達藩御宿として460年以上の歴史を誇る青根温泉。建物は川崎町産の木材が使用され、人と環境にやさしい建物で、また、天然温泉となっている。



⑥松並木 (笹谷街道)
国道286号・市街地を過ぎた先にあり、江戸時代の街道の趣が残されている(現在の松並木は大正時代に植栽されたもの)。



⑤川崎特産センター
みちのく公園入口角にあり、川崎産の新鮮野菜や花、米、そば、漬物、工芸品など「川崎町の農林産物」がいつでも気軽に買える。



⑳ゴルフ場
町内には3つのゴルフ場があり、起伏にとんだコースは初心者から上級者までが楽しめる。多くのゴルファーでにぎわっている。



⑲滝前不動の藤 (国天然記念物)
支倉地区にある古藤で、大蛇のように木の木に巻きついて伸びている。樹齢は400年以上と推定されている。



⑱上楯城址
支倉常長の祖父・常正が1545年に築いた連郭式(本丸〜三の丸が直線的に並ぶ形式)の山城で、土塁や空堀の跡が残る貴重な城跡。



⑰支倉常長の墓 (圓長山円福寺)
平安期の創建で、明治期に焼失したが再建された。支倉地区を見わたす丘に「常長の墓」がありイカリ印の碑やマリア観音が伝わる。



⑯ポートピア川崎
競艇専用の場外売場として誘致された施設。投票場の他、レストランや観覧席などが整備されている。



⑮仙人大滝
国道286号沿いを流れる北川の源流に位置する仙人沢。仙人大滝は沢つたいに歩いて40分ほど上流にある。



⑭雁戸山
蔵王連峰の北麓、「ガント」はノコギリの古語で急峻な峰の形から名付けられたと考えられる。笹谷峠からの登山客も多い秀峰。



⑬蔵王山頂「お釜」
蔵王国定公園のシンボル「お釜」は、自然が創った雄大な造形美を誇る山頂の湖である。

月最高気温 単位: °C
表: 月最高気温 (全年, 1月, 2月, 3月, 4月, 5月, 6月, 7月, 8月, 9月, 10月, 11月, 12月)
平成23年: 35.6, 6.4, 15.1, 16.3, 21.7, 27.0, 31.9, 35.6, 35.6, 32.9, 24.8, 20.5, 15.2
平成24年: 35.4, 6.9, 10.8, 17.8, 21.5, 25.2, 26.6, 35.3, 35.4, 32.0, 26.2, 17.0, 13.6

月最低気温 単位: °C
表: 月最低気温 (全年, 1月, 2月, 3月, 4月, 5月, 6月, 7月, 8月, 9月, 10月, 11月, 12月)
平成23年: -7.3, -7.3, -6.3, -5.4, -3.9, 4.9, 6.5, 13.1, 16.6, 8.8, 3.9, -0.9, -6.5
平成24年: -10.7, -8.7, -10.7, -5.4, -2.3, 5.7, 9.0, 14.3, 17.3, 12.3, 4.4, -0.7, -6.5

月平均気温 単位: °C
表: 月平均気温 (全年, 1月, 2月, 3月, 4月, 5月, 6月, 7月, 8月, 9月, 10月, 11月, 12月)
平成23年: 11.3, -0.9, 1.3, 2.0, 8.3, 14.5, 19.2, 23.3, 23.4, 20.4, 13.8, 8.6, 1.9
平成24年: 11.1, -1.2, -1.5, 2.9, 8.3, 14.6, 16.8, 21.9, 24.8, 22.1, 14.3, 8.0, 1.9

月積算雨量 単位: mm
表: 月積算雨量 (全年, 1月, 2月, 3月, 4月, 5月, 6月, 7月, 8月, 9月, 10月, 11月, 12月)
平成23年: 1362.0, 22.0, 52.0, 55.0, 186.0, 160.0, 155.0, 116.0, 355.0, 113.0, 36.0, 60.0
平成24年: 1396.0, 35.0, 54.0, 150.0, 50.0, 241.0, 247.0, 149.0, 103.0, 214.0, 66.0, 41.0

釜房ダム管理所 管理係 提供

国民年金 平成24年度
表: 国民年金 (第一号被保険者, 任意加入被保険者, 第三号被保険者, 合計)
平成24年度: 1,563人, 10人, 432人, 2,005人
給付状況 平成23年度
給付額: 1,926,202千円
支給者: 2,980人

(老齢基礎年金・障害年金 其他年金含む)

国民健康保険 平成24年度
表: 国民健康保険 (世帯数, 被保険者数, 件数, 医療費, 費用額)
世帯数: 世帯
被保険者数: 一般 2,889人, 退職者 211人
件数: 一般 37,945人, 退職者 3,509人
医療費: 一般 483,349千円, 退職者 41,461千円

公立病院 平成24年度
表: 公立病院 (国民健康保険, 川崎病院)
病床数: 60床 (-140床-併設200床)
医師数: 5
理学療法士: 1
薬剤師: 2
看護師: 28
検査技師等: 3
臨時・委託等: 23

バランスのとれた地場産業の発展と育成

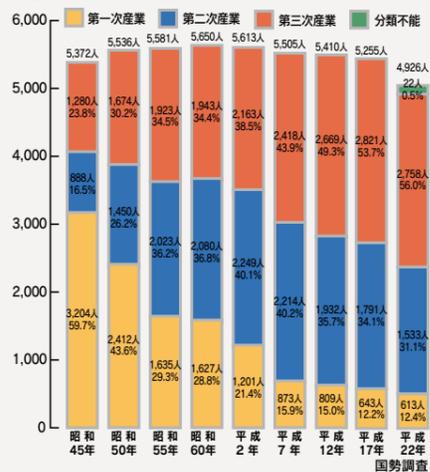
産業

農業のすがた

農業のすがた 平成2年度, 平成7年度, 平成12年度, 平成17年度, 平成22年度
表: 農業のすがた (総農家数, 販売農家数, 専業農家, 第一種兼業農家, 第二種兼業農家, 農家人口, 経営耕地面積, 農家一戸当り田, 畜産, 乳用牛, 肉用牛, 農用機械, トラクター, 動力田植機, コンバイン)

※平成17年度より販売農家数のデータを掲載しています。 世界農林業センサス

産業別就業人口の推移



まちを支えるたくましい原動力

商工業

年度別観光客入込数 単位: 人 (資料: 観光統計概要)

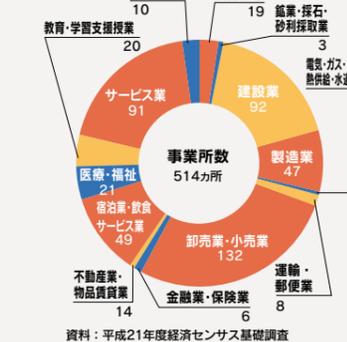
年度別観光客入込数 15年度, 16年度, 17年度, 18年度, 19年度, 20年度, 21年度, 22年度, 23年度, 24年度
表: 年度別観光客入込数 (日帰り, 宿泊, 計)

平成17年度調査分より釜房湖温泉郷はみちのく社の湖畔公園へと統合されている。

商業 資料: 平成19年宮城県の商業

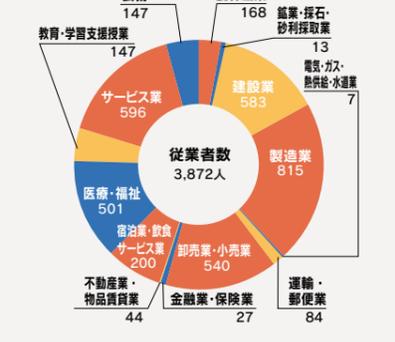
商業 業種名, 商店数(小売業), 従業者数
表: 商業 (総数, 繊維・衣服・身の回り小売業, 飲食料品・小売業, 自動車・自転車・小売業, 家具・建具・什器・小売業, その他の小売業)

事業所数



資料: 平成21年度経済センサス基礎調査

従業者数

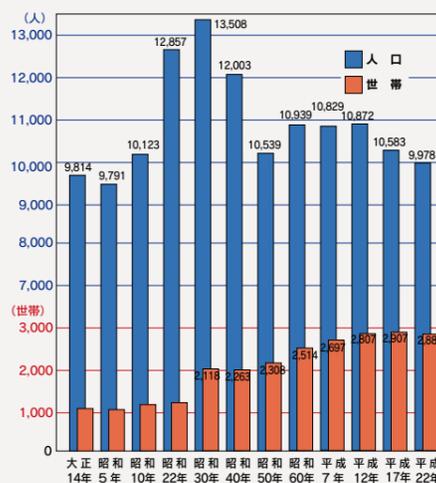


事業所数・製造品出荷額等 資料: 宮城県の工業統計調査

事業所数・製造品出荷額等 年度, 事業所数, 従業者数, 現金給付額(万円), 原材料等使用額(万円), 製造品出荷額等(万円), 付加価値額(万円)
表: 事業所数・製造品出荷額等 (9年度, 10年度, 11年度, 12年度, 13年度, 14年度, 15年度, 16年度, 17年度, 18年度, 19年度, 20年度, 21年度, 22年度)

※平成16年度までは相対付加価値額にて公表しています。(平成13年度以降は、4人以上の事業所)

人口・世帯数の推移(国勢調査)

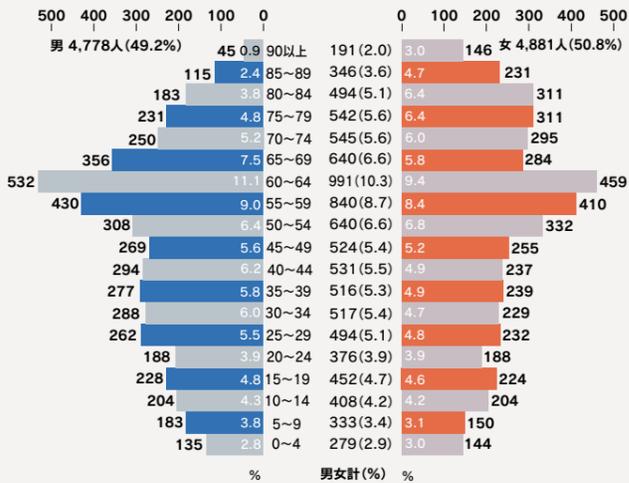


交通

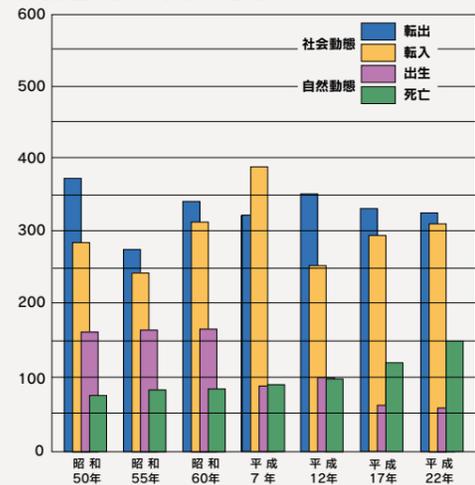
かわさき町民バス 平成24年度

かわさき町民バス 路線名, 片道運行距離, 片道所要時間, 運行便数, 運行日
表: かわさき町民バス (1 青根・前川線, 2 笹谷・野上線, 3 碓石・支倉線, 4 本砂川・川内線, 5 湯坪線, 6 下原線, 7 四ヶ路山線, 8 安達線, 9 町内循環線, 計 9路線)

年齢別人口構成



住民基本台帳による人口動態



より豊かな暮らしを支えるゆとりある環境づくり

生活環境

道路延長 平成24年4月1日現在

道路延長 国道, 県道, 町道
表: 道路延長 (国道 56.4km, 県道 35.6km, 町道 194.9km)

施設の状況 平成25年3月31日現在

施設の状況 郵便局, 簡易郵便局, 公民館, 公民館分館, 公園
表: 施設の状況 (郵便局 2, 簡易郵便局 3, 公民館 1, 公民館分館 8, 公園 5)

消防 平成25年4月1日現在

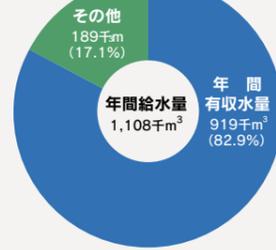
消防 分団数, 消防団員, 現有装備, 消防水利, 大河原消防署川崎出張所
表: 消防 (分団数 6分団, 消防団員 251名, 現有装備: ボンプ車 3台, 小型動力ポンプ積載車 25台, 消防水利: 消火栓 121ヶ所, 防火水槽 102ヶ所)

下水道 平成25年3月31日現在

下水道 営業延長, 認可面積, 整備済面積, 整備率, 町全体水浄化率
表: 下水道 (営業延長 81km, 認可面積 557.0ha, 整備済面積 428.5ha, 整備率 76.9%, 町全体水浄化率 79.4%)

上下水道事業 平成25年3月31日現在

施設数/8 給水人口/9,073人 料金収入/261,006千円 1日最大給水量/4,018m³



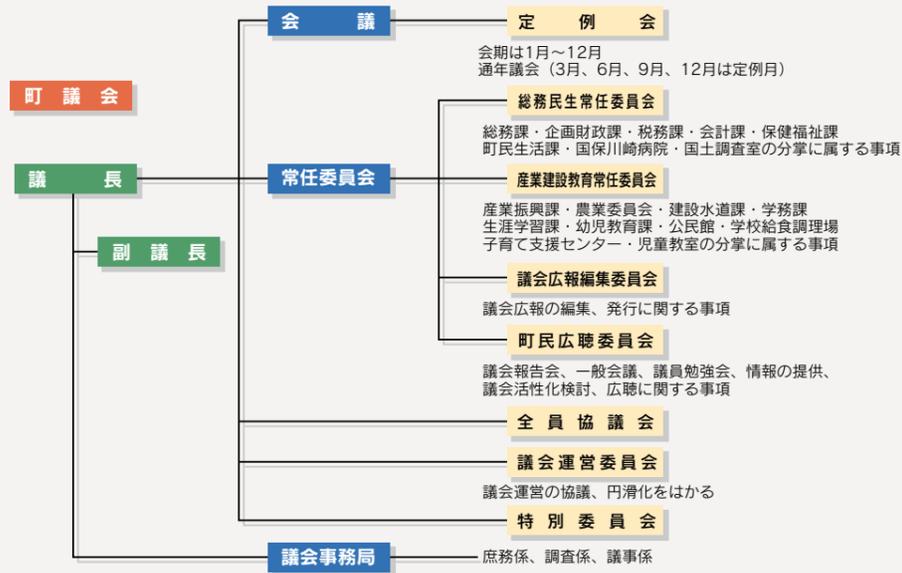
※平成24年度から簡易水道事業は上下水道事業へ統合。

所得(町内総生産) 単位(百万円)

所得(町内総生産) 区分, 平成20年度, 平成21年度, 平成22年度
表: 所得(町内総生産) (第一次産業, 第二次産業, 第三次産業, 総計)

町営住宅 平成25年3月31日現在

町営住宅 木造第1種住宅, 木造第2種住宅, 簡易耐火住宅第1種(アパート)
表: 町営住宅 (木造第1種住宅 23, 木造第2種住宅 44, 簡易耐火住宅第1種(アパート) 58, 合計 139)



学校数及び教職員数

(資料：学校基本調査、各年5月1日、()は分校、職員数は教員職数)

年度	こども園・幼稚園				小学校			中学校			柴田農林高等学校川崎校					
	園数	学級数	児童数	職員数	校数	学級数	児童数	職員数	校数	学級数	生徒数	職員数	校数	学級数	生徒数	職員数
20	2	6	94	9	7 (1)	40	547	70	2	10	291	31	(1)	5	109	20
21	2	6	113	8	7 (1)	43	290	70	2	11	290	30	(1)	4	108	17
22	2	9 (6)	182 (61)	14 (19)	7 (1)	42	493	72	2	13	273	28	(1)	3	101	12
23	2	10 (6)	194 (59)	19 (18)	7 (1)	38	463	68	2	11	268	27	(1)	3	95	12
24	2	10 (5)	189 (53)	18 (16)	4	32	440	51	2	12	259	31	(1)	3	80	11
25	2	9 (6)	178 (61)	18 (16)	4	29	413	47	2	13	263	34	(1)	3	72	11

※ 0 内の数値は、こども園の保育部門。職員数（保育士数）。

教育行政

(単位：千円)

年度	一般会計 決算額	教育費 決算額	教育費の一般会計 に占める割合	教育費 社会教育費 決算額	教育費中に占める 社会教育費 の割合
16	5,180,576	591,325	11.4	72,701	12.3
17	4,694,623	603,012	12.8	69,049	11.5
18	4,632,719	669,944	14.5	143,604	21.4
19	4,474,591	481,210	10.8	64,921	13.5
20	4,066,180	471,670	11.6	136,546	28.9
21	4,734,935	501,134	10.6	64,045	12.8
22	5,033,089	689,597	13.7	63,342	9.2
23	5,709,089	697,420	12.2	50,594	7.3
24	5,462,650	680,903	12.5	51,157	7.5

社会教育施設

(平成25年8月31日現在)

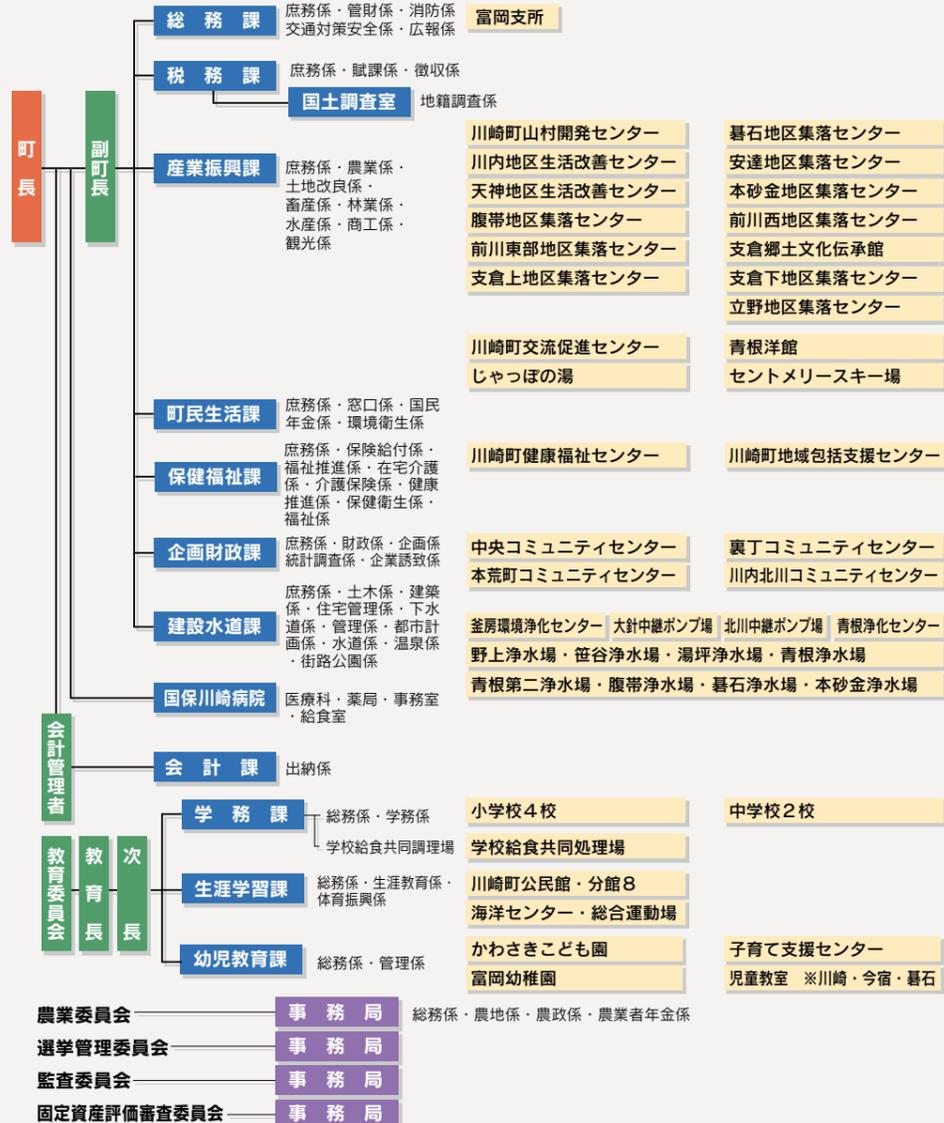
施設名	延べ床面積 (m ²)	構造	備考	施設名	延べ床面積 (m ²)	構造	備考
川崎町B & G 海洋センター	1727.04	鉄筋2階		前川東部地区集落センター	171.72	木造平屋	
川崎町公民館	895.00	鉄筋3階		支倉上地区集落センター	158.76	木造平屋	
青根分館	88.00	木造平屋		碓石地区集落センター	216.13	木造平屋	
野上分館	310.00	木造平屋		安達地区集落センター	49.68	木造平屋	
古岡分館	207.00	木造平屋		本砂金地区集落センター	169.91	木造平屋	
笹谷分館	708.00	鉄筋2階他	旧笹谷分校	前川西部地区集落センター	181.36	木造平屋	
小野分館	202.00	木造平屋		支倉郷土文化伝承館	427.51	木造平屋	集会施設及び展示室
川内3分館	155.00	木造平屋		立野地区集落センター	237.73	木造平屋	
大針分館	204.62	木造平屋		支倉下地区集落センター	154.85	木造平屋	
支倉台分館	225.26	鉄骨平屋		中央コミュニティセンター	179.00	木造平屋	
川崎町山村開発センター	1,735.43	鉄筋3階		本荒町コミュニティセンター	162.00	木造平屋	
川内地区生活改善センター	152.35	木造平屋		川内北川コミュニティセンター	517.58	木造平屋	旧川崎保育所
天神地区生活改善センター	179.01	木造平屋		裏丁コミュニティセンター	336.28	鉄筋2階	旧仙台法務局川崎出張所
腰帯地区集落センター	156.33	木造平屋					

注) 公民館分館の他、各集落センター、コミュニティセンター等の施設も記載しています

行政

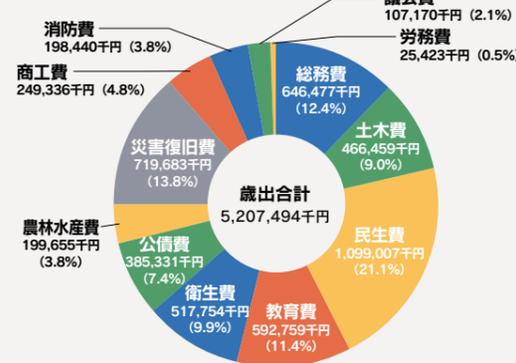
予算の効率的な運営と管理

財政

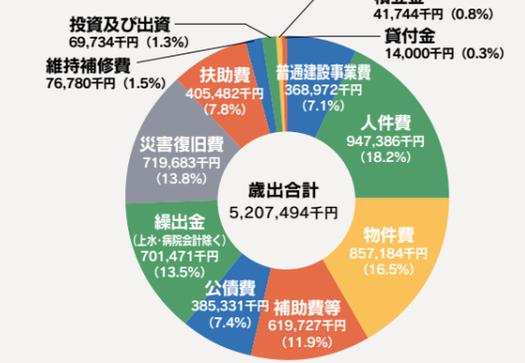


平成24年度一般会計決算状況

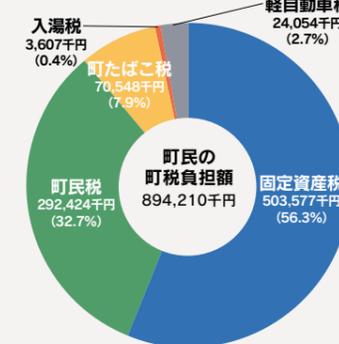
歳出(目的別)



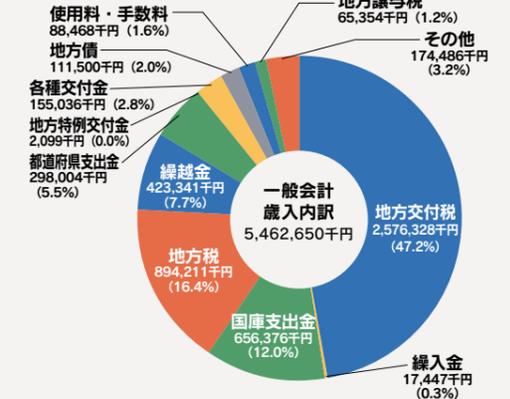
歳出(性別)



税の内訳



一般会計歳入内訳



平成24年度各会計決算状況(千円)

会計区分	歳入総額	歳出総額
一般会計	5,462,650	5,207,494
国民健康保険	1,158,668	1,158,668
後期高齢者医療保険	71,440	71,440
介護保険	943,013	918,396
温泉事業	14,381	14,329
公共下水道事業	567,114	567,114
川崎町病院事業	693,037	760,690
川崎町上水道事業	351,798	279,425
特別会計		
合計	9,262,101	8,977,556